



## 第2回くろがねもち協議会

6月30日(金)の午後4時から、第2回くろがねもち協議会を開催しました。

今回は、くろがねもち協議会委員のみなさまに加え、PTA本部役員のみなさまにもご参加いただき、「学校の教育活動等の様子・PTA活動の現状と今後について」をテーマにご協議いただきました。会議の中で出された内容の一部を以下にご紹介します。これらのご意見をふまえて、本校の教育活動の改善を図ってまいります。



- ・学校探検では、給食の時間に間に合うように学校へ戻ってくるのであるなら、出発時刻を早める必要がある。
- ・児童の登下校の様子を見ていると、熱中症の危険があるような暑い日でもマスクを外していない子どもが多い。周りの大人もマスクを外していない人が多いので、難しいかもしれないが、暑い日は外すように学校や家庭でも声をかけていく必要がある。
- ・通学路の安全について、交差点などのストップマーク(パンダシール)や足型が消えかかっているところがある。⇒ 夏休みにパンダシールを貼る予定である。
- ・声かけ事案等の不審者対策のためにも、下校時刻を守り、複数で帰る(一人にならない)ようにする。
- ・自然教室や家庭科のミシンや調理等の活動の場面では、保護者のボランティアを呼びかけていくとよい。

## 5年生自然教室

7月4日(火)5日(水)、5年生が「四日市市少年自然の家」へ一泊二日の自然教室にでかけました。

1日目の午前中は四日市スポーツランドでアスレチック体験をしました。途中休憩などを入れながら、遊具でたくさん遊ぶことができました。その後、各班に分かれてウォークラリーで少年自然の家に向けて出発しました。班で協力して、地図を見ながら各チ



エックポイントをまわり、ゴール地点を自指しました。どの班も協力し合いながら無事にゴールの少年自然の家に到着しました。



すべての班が到着した後、体育館下の涼しい場所でお弁当を食べました。午後からは二班に分かれてカヤック体験と焼杉作りをしました。カヤック体験は、安全な乗り方を職員の方から教えていただいた後、ライフジャケットを身に着けてカヤックに乗りこみました。はじめはなかなか進まなかったペアも、「右、左」と声を掛け合いながら、息を合わせてパドルを動かすと、カヤックはすべるように水面を進んでいきました。楽しくてあっという間に時間が過ぎていきました。



焼杉作りは木片をガスバーナーであぶった後、近くの小川ですすをたわしでこすり取りました。飾るためのフックもつけました。模様を描く仕上げは、後日学校で行う予定です。

そして二班に分かれての二つの活動を終えた後、入所式を行いました。

夕食後は、外でキャンプファイヤーを行いました。ファイヤーが燃え上がり、炎を囲んでゲームやダンスで大いに盛り上がりました。ダンスをしながら子どもたちの笑顔がはじけていました。

2日目は野外炊事を実施しました。炊事場に移動し、災害時を想定した空き缶ご飯とカレー作りに取り組みました。空き缶ご飯は、アルミ缶に一人分の米と水を入れ、アルミホイルのふたをかぶせて火にかかけます。カレーは、じゃがいもやにんじん、たまねぎとお肉を切って、鍋に水を入れて煮込みます。その後、カレー粉を入れてさらに煮込みました。かまどでの火おこしが思った以上にたいへんで、必死にうちわであおぎ、火を絶やさずに薪をくべるなど、煙にまみれて悪戦苦闘しながら野外炊事を行いました。自分の担当の仕事を一生懸命に取り組んでいる様子は、とても素晴らしい姿でした。炊事場の後片付けも、次の学校が使用しやすいように、きれいにすることができました。



1日目は、とても暑い日でしたが活動時間を短くするなどし、予定通りの活動を一日二日で実施することができました。子どもたちは、自然に親しみ、自然の厳しさや良さを感じるとともに、きまりや約束事を守ることを学び、友だちとの絆を深めることができた有意義な自然教室となりました。

1日目は、とても暑い日でしたが活動時間を短くするなどし、予定通りの活動を一日二日で実施することができました。子どもたちは、自然に親しみ、自然の厳しさや良さを感じるとともに、きまりや約束事を守ることを学び、友だちとの絆を深めることができた有意義な自然教室となりました。